

「いのち」輝く神戸の地で

岡山県国公立幼稚園PTA連絡協議会副会長

佐藤 真治

忘れもしない1995年1月17日、阪神淡路大震災が神戸の街を襲いました。あれから11年、目覚ましい復興を遂げた神戸の地で、全国国公立幼稚園PTA全国大会兵庫大会が盛大に開催されました。全国から1500人以上の関係者が集まり、隣県ということで、我が岡山県国公立幼稚園PTA連絡協議会からも、バスを連ねて、多くの参加がありました。

思えば、震災直後、私もAMD Aの緊急救援物資を届けに長田区に入り、災害の激しさを目の当たりにしましたが、今、幼稚園に通う子ども達は、兵庫県や神戸市の子ども達さえ、日本で、神戸の地で、多くの方が亡くなったことを肌で感じることはできないかもしれませぬ。そうした中、この全国大会は、「時代を生きる子どもたちへのメッセージ」として、「いのちを支える 人・自然・心」をテーマに、開催されました。

前日の役員会・理事会と平行して「人と防災未来センター」の見学もありましたが、この施設もまた、「大震災を教訓にいのち輝く未来を」をテーマにしたものです。また、前夜の情報交流会でも、まさに奇跡の復興を遂げた神戸を愛する気持ちが溢れ出んばかりのアトラクションもあり、大会当日の貝原前兵庫県知事の記念講演はもちろん、会場入り口には、震災直後の瓦礫の中の幼稚園の写真、子ども達の手紙も掲げられ、役員・スタッフの皆様「いのち」というテーマに沿った思いが、ひしひしと伝わって参りました。

少子高齢化の波の中で、幼稚園をめぐる環境は大きく変わってきていますが、幼稚園は子どもが初めて出会う「学校」として、その重要性は不変であり、また、全国でも、国公立幼稚園が非常に多い岡山県は、全国の幼稚園をリードして行く責務があります。

全国大会は、来年度は、福岡、その次が千葉、3年後が、岡山県で開催されます。全国副会長に就任された猪木会長を実行委員長に、岡山らしい大会開催に繋げたいものですね。